鉄道コレクション対応　点灯化キット　東京都交通局10-000形対応

TE-1000_ml　ライトユニット　説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。

本キットは以下の車種に対応します。
・東京都交通局10-000形

本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

ご注意

・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

・ライトユニット	:	1個/セット
・通過標識灯ユニット	:	1個/セット

【その他】

・説明書（本紙）	:	1枚
・導電性アルミテープ（15mm×約120mm）	:	3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）	・直定規
・ピンセット	・楊枝，綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	~~・ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm）~~	~~・ポンチ（プッシュピンなどでも可）~~
~~・プラスドライバー~~	・精密ヤスリ（平、丸、半丸など）	・サンドペーパー
・両面テープ	~~・ゴム系接着剤~~	~~・マスキングテープ~~
~~・木工ボンド~~	~~・プラモデル用接着剤~~	~~・瞬間接着剤~~
・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」，セメダイン「ラピー」など）		~~・遮光用の塗料（黒または銀）~~

●取り付け手順

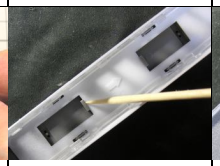
※網かけの項目は、通過標識灯ユニットを取り付ける場合に必要な項目です。

1. 分解する

1-1　床板を外す

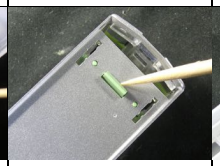
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1-2　屋根を外す



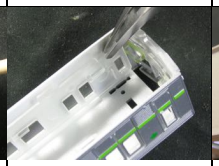
中央のツメを外して、屋根を外します。

1-3　乗務員室仕切りを外す



乗務員室仕切りは、天井上の爪を押して、外します。

1-4　側窓を外す



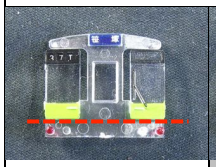
側窓を外します

1-5　前面透明パーツを外す

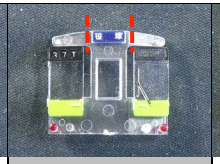
ライトレンズを楊枝などで押して、前面透明パーツを外します。

2. 車体を加工する

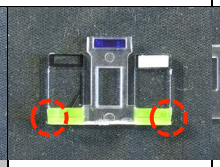
2-1　前面透明パーツの加工



前面窓の直下（緑色の直下）で切断します。
ライトレンズは使用しないので保管します。

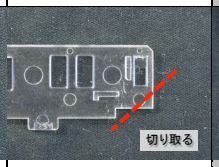


通過標識灯を取り付ける場合は、通過標識灯を切断します。
通過標識灯のレンズは使用しないので保管します。



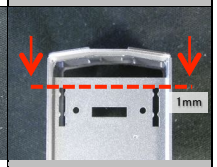
前面窓裏側のリブ上の三角形の突起を削り取ります。

2-2　側窓を加工する



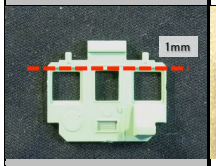
側窓前端を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でカットします。カッターで数度傷を付けてから折ります。

2-3　車体を加工する



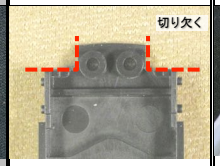
通過標識灯を取り付ける場合は、天井前端の穴を約1mm拡大します。

2-4　乗務員室仕切りの加工



通過標識灯を取り付ける場合は、乗務員室仕切りの上部を約1mm切り取ります。

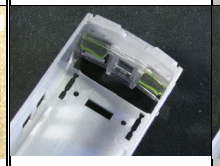
3. 床板を加工する



床板前端の両サイドを切り欠きます。
枕木方向はダミーカプラーの取付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。

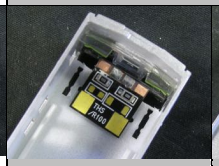
4. ライトユニットを取り付ける

4-1　前面窓を取り付ける

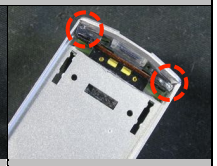


前面窓ガラスをはめ、両面テープで固定します。

4-2　通過標識灯ユニットを取り付ける



通過標識灯ユニットを両面テープで取り付けます。

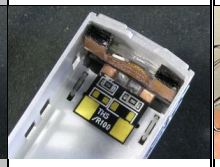


2mm × 3.5mmのポリエステルテープを2枚用意し、通過標識灯レンズの上部、通過標識灯ユニットとボディの間に貼ります。

（4-2つづき）

屋根を取り付け、点灯試験をして、屋根とボディの隙間から光漏れしていないことを確認します。
（屋根と通過標識灯ユニットが干渉する場合は、通過標識灯ユニットを少し削ってください。）

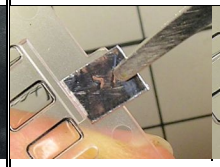
4-3　ライトユニットの取付

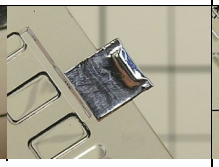


ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープで固定します。

5. 配線する

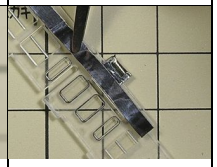
5-1　側窓の凸部にアルミテープを貼る



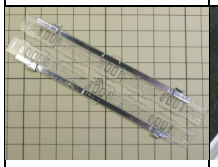
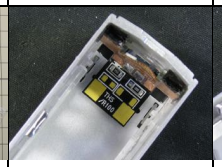
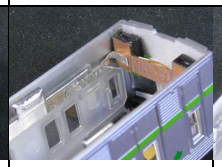
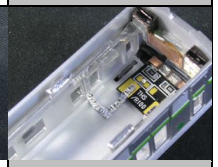


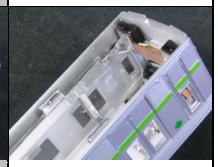
5mm × 7mmのアルミテープを4本用意します。
側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。
両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。

5-2　側窓下にアルミテープを貼る

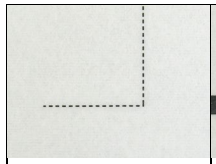
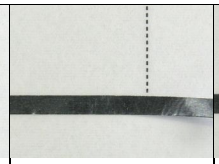
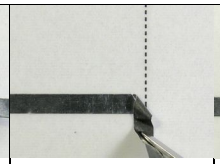
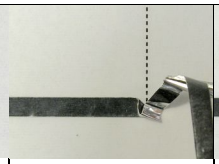
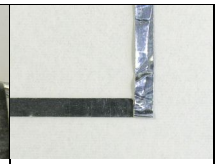


2.5mm × 108mmのアルミテープを2本用意します。
側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。

（5-2つづき）	5−3 側窓をはめる	5−4 ライトユニットへ配線する		5−5 通過標識灯ユニットへの配線
				
両側の側窓に貼ります。	側窓をはめます。 ※片側2か所程度、両面テープ片を使って固定することをお薦めします。	1.5mm × 15mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	1.5mm × 約30mmのアルミテープを使って、通過標識灯ユニットの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。 余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

（5-5つづき）	5−6 側窓下の重ね貼り
	
通過標識灯ユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、2.5mm × 8mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●テープを折り曲げながら貼る

				
L字形にテープを貼ります。	一辺を貼ります。	曲がり角で、一旦反対側に曲げます。	向かいたい方向に、再度曲げます。	よく押さえて完成です。

TE-1000_ml 説明書 1.00
2017/10/27 1.00 初版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15, 店舗営業はしていません。
phone：0468-27-7261, 10:00～18:00 土日祝休業, e-mail：shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp